

歯周科の研修プログラム

1. 取得できる認定医・専門医等とそれらを取得するための資格(概要)

1) 日本歯周病学会認定医

- 1) 3年以上継続して日本歯周病学会会員であること
- 2) 学会認定の研修施設に3年以上所属し、歯周病学に関する研修と臨床経験を有すること
- 3) 学会学術大会における認定医・専門医教育講演を2回以上受講していること
- 4) 以下の認定医試験に合格すること
 - 4-1) 指導医の推薦書があること
 - 4-2) 歯周炎患者治療の1症例(基本的歯周外科手術後に6ヵ月以上安定した状態を保っていること)を提示すること(指導医検印の症例報告書を提出)
 - 4-3) 歯周病全般の臨床的専門的知識に関する筆記試験に合格すること(毎年2回、学術大会時に実施)

注) 非喫煙者であること、が加えられる予定

2) 日本歯周病学会認定歯周病専門医

- 1) 認定医(関連学会認定医を含む)であること
- 2) 専門医の申請時に、認定医に登録後通算2年以上日本歯周病学会会員であること
- 3) 学会認定の研修施設に、認定医登録後通算2年以上所属し、歯周病学に関する研修と臨床経験を有すること
- 4) 認定医登録後に学会学術大会における認定医・専門医教育講演を2回以上受講していること
- 5) 申請時に定められた教育研修単位を取得していること
- 6) 原則として日本歯科医師会の会員であること
- 7) 非喫煙者であること
- 8) 以下の専門医試験に合格すること
 - 4-1) 指導医の推薦書があること
 - 4-2) 専門医申請患者一覧表と症例報告書(すべてに指導医検印が必要)を提出すること
 - ① 中等度以上の歯周炎患者症例を10例提示(内8症例は歯周外科処置を含み、かつそれに再生療法を1症例以上含む)すること
 - ② 10症例全てがmaintenace / SPT移行後6ヵ月以上安定して経過していること
 - ③ 所定の症例報告書に加えて、術前・術後の口腔内写真とエックス線写真を添付すること
 - 4-3) 提出した中から1症例を症例発表し、口頭試問を受けること

3) 日本歯科保存学会専門医

- 1) 5年以上継続して日本歯科保存学会会員であること
- 2) 所定の研修経験を有すること(研修単位を60単位以上、内日本歯科保存学会の学会活動で30単位以上であること)
- 3) 学会認定の研修施設における研修内容
 - 3-1) 5年以上の認定研修を修了
 - 3-2) 研究論文1編以上を日本歯科保存学雑誌に発表
 - 3-3) 日本歯科保存学会学術大会で1回以上筆頭演者として発表
- 4) 申請時に歯科保存治療に携わっていること
- 5) 原則として日本歯科医師会の会員であること
- 6) 以下の認定医試験に合格すること(修復、歯内、歯周の3分野に渡る)
 - 4-1) 筆記試験
 - 4-2) 面接試験
 - 4-3) 症例試験(試問)

2. 認定医・専門医等取得のための基本的なプログラム(ロードマップ)

認定医・専門医等	コース名	大学との関連	卒後1年目	卒後2年目	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目
日本歯周病学会認定医 日本歯周病学会認定歯周 病専門医	臨床専門医コース	卒後研修直後に 大学院進学(4年 制を例示)	卒後研修医	大学院1年次	大学院2年次	大学院3年次	大学院4年次	大学院修了1年目
		卒後研修	岡山大学病院歯周科にて研修					
	卒後研修直後にレ ジデント そして大学院進学 (4年制)	卒後研修医	後期研修医	大学院1年次	大学院2年次	大学院3年次	大学院4年次	大学院4年次
	卒後研修	岡山大学病院レジデント (後期研修 1年):歯周科研修	岡山大学病院歯周科にて研修					
大学院以外のコース	岡山大学病院での 研修頻度によっ て、必要年数が変 化します	卒後研修医	他の医療機関への就職	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医
		卒後研修		岡山大学病院歯周科にて研修				
			卒後7年目	卒後8年目	卒後9年目			
				日本歯周病学会認定歯周病専門医 申請 試験・取得				
			大学院修了2年目	大学院修了3年目	大学院修了3年目			
			*	*	*			
			大学院修了1年目	大学院修了2年目	大学院修了3年目			
			*	*	*			
			日本歯周病学会認定医 申請 試験・取得					
			歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医			

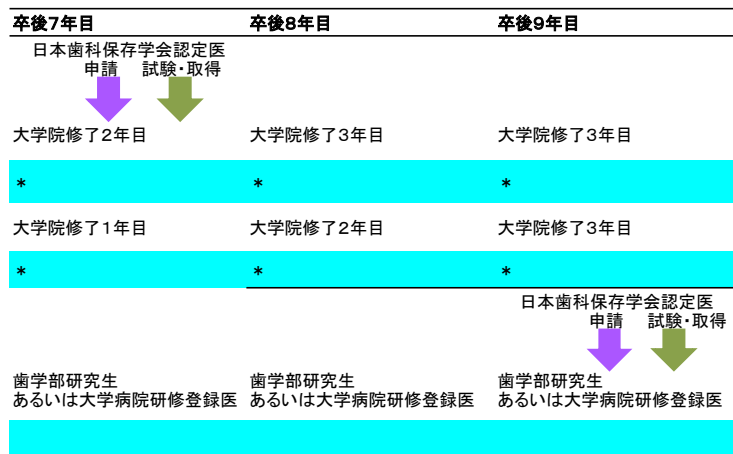
注1) 歯学部研究生や大学病院研修登録医の場合は、一週間の内で何日間を大学病院で研修できるかによって、認定医・専門医の申請に必要な研修期間を計算する。

注2) 学会が認定する他の研修機関での研修期間を大学病院での研修期間と合算することも可能である(ただし、他機関の指導医との調整が必要)。

&.:レジデントで可能

*.:大学病院以外に、関連研修機関あるいは学外へ就職して大学病院研修登録医か歯学部研究生

認定医・専門医等	コース名	大学との関連	卒後1年目	卒後2年目	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目
日本歯科保存学会専門医	臨床専門医コース	卒後研修直後に大学院進学(4年制を例示)	卒後研修医	大学院1年次	大学院2年次	大学院3年次	大学院4年次	大学院修了1年目
卒後研修			岡山大学病院歯周科にて研修					&, *
卒後研修直後にレジデントそして大学院進学(4年制)		卒後研修医	後期研修医	大学院1年次	大学院2年次	大学院3年次	大学院4年次	
		卒後研修	岡山大学病院レジデント(後期研修 1年):歯周科研修	岡山大学病院歯周科にて研修				
大学院以外のコース	岡山大学病院での研修頻度によって、必要年数が変化します	卒後研修医	他の医療機関への就職	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	歯学部研究生 あるいは大学病院研修登録医	
		卒後研修		岡山大学病院歯周科にて研修				



注1) 歯学部研究生や大学病院研修登録医の場合は、一週間の内で何日間を大学病院で研修できるかによって、認定医・専門医の申請に必要な研修期間を計算する。
注2) 学会が認定する他の研修機関での研修期間を大学病院での研修期間と合算することも可能である(ただし、他機関の指導医との調整が必要)。

&.:レジデントで可能

*.:大学病院以外に、関連研修機関あるいは学外へ就職して大学病院研修登録医か歯学部研究生